

平成12年度 和歌山県文化奨励賞

くるま がわ ち ず こ 車 川 知寿子

住 所：和歌山県伊都郡高野口町
出 身 地：和歌山県伊都郡高野口町
生 年：昭和44年

◎業績及び経歴

昭和44年に伊都郡高野口町で生まれた氏は、4歳より電子オルガンのレッスンを始め、6歳の頃にはすでに作曲をしていた。

12歳の時に財団法人ヤマハ音楽振興会の主催する“小さな音楽大使”に選ばれ、東欧各地で自作曲を演奏、昭和58年にはロサンゼルスオリンピックのシンクロナイズドスイミングの演技曲として自作曲「雅」が採用された。

その後、桐朋学園大学作曲理論学科作曲専攻を経て、平成7年に同大学研究科を卒業。コンピューターミュージックや舞台音楽も手がけるなど、幅広いジャンルにおいて積極的に作曲、編曲活動を行っている。

平成8年には後進の指導と地域に根ざした作曲活動を志し帰郷、同年12月には高野口町産業文化会館アザレアホールにおいてデビューリサイタル「夢を求めてー作曲家への歩み」を開催し、成功を取めた。

また、平成6年、平成8年に第10回、11回の新・波の会日本歌曲コンクールにおいて連続して優秀賞を受賞し、平成9年に同会に入会した。

作曲家として自身のプロデュースをする一方、地元の子ども達を指導するなど、氏の活動は本県の文化の振興に大きく寄与している。

代表作として、「レ・ミゼラブル」、「平和への祈り」、歌曲「鷺草の夢」、「兄さんの駅」、最近では創作オペラ「石童丸ものがたり」などがある。

■現在

大阪音楽大学非常勤講師
大阪音楽大学附属音楽学園講師
新・波の会会員

■主な表彰歴等

平成6年、平成8年
新・波の会日本歌曲コンクール優秀賞